



平成27年3月18日
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）と ゴンザレス・ニカラグア大統領顧問との会談



本日18日、午前11時10分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、ゴンザレス・ニカラグア大統領顧問と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

山谷大臣から、東日本大震災の際、オルテガ大統領や、外務大臣を始めとする外務省のほぼ全職員が在ニカラグア日本国大使館を訪問され、弔意を表明いただいたことに改めて謝意を表すとの発言があった。

ゴンザレス大統領顧問からは、災害に対しては国が一丸となって取り組むことが重要であること、日本とは今後も協力していきたいとの発言があった。

2. 防災関係

ゴンザレス大統領顧問から、災害の経験と優れた技術を持つ日本から今後も災害に関する知見を得ていきたいと思っていること、特に火山や津波について若い専門家を日本に派遣し知見を得ていきたいとの発言があった。また、気候変動に対応していくためには、自然を理解し、受け入れ、敬意を払うことが重要であるとの発言があった。

山谷大臣からは、今後も人材育成等に協力していきたいこと、我が国がこれまで積み重ねてきた防災に関する取組を世界に向けて発信し、「防災の主流化」に貢献したいとの発言があった。